

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 5 年 6 月 30 日

神戸市長 宛

提出者

住 所

神戸市中央区港島南町3丁目3番地の2

氏 名 (法人にあっては名称及び代表者氏名)

株式会社森長組 関西支店

常務取締役支店長 桦田 健一

電話番号

078-304-0888

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、4 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事 業 場 の 名 称	神戸市内の工事現場
事 業 場 の 所 在 地	神戸市内
事 業 の 種 類	0611 一般土木建築工事業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	70 t	全 処 理 委 託 量	70 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処理委託量	t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処理委託量	70 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処理委託量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況	(産業廃棄物の種類 : 2020建設系混合廃棄物(管理型含む)(がれき類、木くず、紙くず))	事業場コード : 28JS000684	地域コード:11(神戸)
(事業場コード(28J又は69Jで始まる全10桁コード)が不明の場合、事業所名称を記入ください。)			
<p>備考: ⑯～⑳、⑫'及びA～Eは、法様式に追加して、報告していただいている項目です。</p> <p>追加項目は、産業廃棄物の処理動向を長期的に把握し、不適正処理を防止するため必要なデータです。</p>			
項目	実績値		
① 排出量	53		
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0		
⑤ 自ら熱回収を行った量	0		
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0		
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0		
⑩ 全処理委託量	53		
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0		
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0		
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0		
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0		

(第2面)

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
 53 (A+B+⑯+⑰)

⑪優良認定業者への処理委託量
 0 ((⑪1/2 + ⑫2/2))

⑫再生処理業者への処理委託量の合計
 0 ((⑫'+⑳))

⑬熱回収認定業者への処理委託量
 0 ((⑯1/2 + ⑰2/2))

⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
 0 ((⑯1/2 + ⑰2/2))

⑮は委託処理のうちの最終処分量
 53 (A+D+⑰+⑲)

その他
 0 保管量

総埋立処分量
 53 ((⑨+A+D+⑰+⑲))

総再生利用量
 0 ((②+⑧+⑫'+⑳))

計画の実施状況	(産業廃棄物の種類 : 1300 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)		事業場コード : 28JS000684	地域コード:11(神戸)
	(事業場コード(28J又は69Jで始まる全10桁コード)が不明の場合、事業所名称を記入ください。)			
<p>自ら処理している場合の流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ② 自ら直接再生利用した量 (Yellow box) ③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (Yellow box) ④ 自ら中間処理した量 (Yellow box) ⑤ 自ら熱回収を行った量 (Yellow box) ⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (Yellow box) ⑦ 自ら中間処理により減量した量 (Yellow box) ⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (Yellow box) ⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (Yellow box) ⑩ 全處理委託量 (Yellow box) ⑪ 優良認定業者への処理委託量 (Yellow box) ⑫ 再生利用業者への処理委託量 (Yellow box) ⑬ 熱回収認定業者への処理委託量 (Yellow box) ⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (Yellow box) ⑮ 委託処理のうちの最終処分量 (Yellow box) ⑯ 直接中間処理委託量 (Yellow box) ⑰ 直接最終処分委託量 (Yellow box) ⑱ 中間処理後、再生利用業者への処理委託量 (Yellow box) ⑲ 中間処理後、最終処分した量 (Yellow box) ⑳ 中間処理後、優良認定業者への処理委託量 (Yellow box) ㉑ 中間処理後、熱回収認定業者への処理委託量 (Yellow box) ㉒ 中間処理後、熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (Yellow box) <p>備考: ⑯～㉑, ㉒ 及びA～Eは、法様式に追加して、報告していただいている項目です。 追加項目は、産業廃棄物の処理動向を長期的に把握し、不適正処理を防止するため必要なデータです。</p>				
項目	実績値			
① 排出量	10			
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0			
⑤ 自ら熱回収を行った量	0			
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0			
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0			
⑩ 全處理委託量	10			
⑪ 優良認定業者への処理委託量	0			
⑫ 再生利用業者への処理委託量	10			
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0			
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0			

(第2面)

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
 $10 \quad (A+B+\textcircled{16}+\textcircled{17})$

⑪優良認定業者への処理委託量
 $0 \quad (\textcircled{11}/2 + \textcircled{12}/2)$

⑫再生処理業者への処理委託量の合計
 $10 \quad (\textcircled{12}+\textcircled{20})$

⑬熱回収認定業者への処理委託量
 $0 \quad (\textcircled{13}1/2 + \textcircled{13}2/2)$

⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
 $0 \quad (\textcircled{14}1/2 + \textcircled{14}2/2)$

⑮は委託処理のうちの最終処分量
 $0 \quad (A+D+\textcircled{17}+\textcircled{19})$

その他
 $0 \quad \text{保管量}$

総埋立処分量
 $0 \quad (\textcircled{9}+A+D+\textcircled{17}+\textcircled{19})$

総再生利用率
 $10 \quad (\textcircled{2}+\textcircled{8}+\textcircled{12}+\textcircled{20})$

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類 : 7421 ガラスくず等(石綿含有)) 事業場コード : 28JS000684 地域コード:11(神戸)

(事業場コード(28J又は69Jで始まる全10桁コード)が不明の場合、事業所名称を記入ください。)

自ら処理している場合の流れ

- 不要物等発生量 → 排出量 (① 0 t)
- 排出量 → 自ら直接再生利用した量 (②)
- 自ら直接再生利用した量 → 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (③)
- 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 → 自ら中間処理した量 (④)
- 自ら中間処理した量 → 自ら中間処理した後の残さ量 (⑥)
- 自ら中間処理した量 → ④のうち熱回収を行った量 (⑤)
- ④のうち熱回収を行った量 → 自ら中間処理により減量した量 (⑦)
- 自ら中間処理により減量した量 → 自ら中間処理した後の委託最終処分量 (A)
- 自ら中間処理した量 → B
- B → Bの中間処理した後の残さ量 (C)
- C → 熱回収認定業者への処理委託量 (⑬ 1/2)
- C → 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (⑭ 1/2)
- 自ら中間処理した後再生利用した量 (⑧)
- 自ら中間処理した後再生利用した量 (⑨)
- 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (A)
- 自ら中間処理した後の委託最終処分量 (A)
- 自ら中間処理した後の委託中間処理量 (B)
- B → Bのうち優良認定処理業者への処理委託量 (⑪ 1/2)
- 自社保管量 (E)

直接委託処理した場合の流れ

- 直接中間処理委託量 (⑯)
- 直接中間処理委託量 (⑯) → ⑯の中間処理した後の残さ量 (⑯)
- ⑯の中間処理した後の残さ量 (⑯) → ⑯のうち再生利用業者への処理委託量 (⑯)
- ⑯の中間処理した後の残さ量 (⑯) → 熱回収認定業者への処理委託量 (⑬ 2/2)
- ⑯の中間処理した後の残さ量 (⑯) → 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (⑭ 2/2)
- 直接最終処分委託量 (⑰ 0)

備考: ⑯～⑳, ⑫'及びA～Eは、法様式に追加して、報告していただいている項目です。
追加項目は、産業廃棄物の処理動向を長期的に把握し、不適正処理を防止するため必要なデータです。

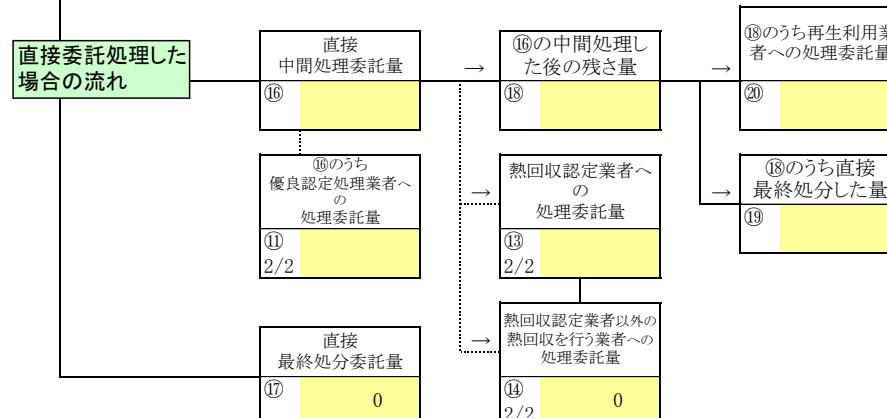
項目	実績値
① 排出量	0
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	0
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

(第2面)

備考：⑯～⑳、⑳'及びA～Eは、法様式に追加して、報告していただいている項目です。

追加項目は、産業廃棄物の処理動向を長期的に把握し、不適正処理を防止するため必要なデータで

項目	実績値
① 排出量	0
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	0
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



⑩直接及び自ら中間処理した後の
処理委託量

⑪優良認定業者への処理委託量
0 (⑪1/2+⑪2/2)

⑫再生処理業者への処理委託量の合計
0 (⑪)+(⑫)

⑬熱回収認定業者への処理委託量
0 (⑬1/2 + ⑬2/2)

⑯熱回収認定業者以外の熱回収を行なう業者への処理委託量
□ 0 (⑯1/2 + ⑯2/2)

⑯は委託処理のうちの最終処分量
0 (A+D+⑰+⑲)

その他
0 保管量

総埋立処分量
0 (⑨+A+D+⑯+⑰)

総再生利用量
0 (②+⑧+⑫'+⑯)

計画の実施状況	(産業廃棄物の種類 : 0600 廃プラスチック類)		事業場コード : 28JS000684	地域コード:11(神戸)
(事業場コード(28J又は69Jで始まる全10桁コード)が不明の場合、事業所名称を記入ください。)				
<p>備考: ⑯～⑳, ⑫' 及びA～Eは、法様式に追加して、報告している場合です。 追加項目は、産業廃棄物の処理動向を長期的に把握し、不適正処理を防止するため必要なデータです。</p>				
項目	実績値			
① 排出量	0			
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0			
⑤ 自ら熱回収を行った量	0			
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0			
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0			
⑩ 全処理委託量	0			
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0			
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0			
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0			
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0			

(第2面)

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
0 (A+B+⑯+⑫')

⑪優良認定業者への処理委託量
0 ((⑪1/2 + ⑫'2/2))

⑫再生処理業者への処理委託量の合計
0 ((⑫'+⑳))

⑬熱回収認定業者への処理委託量
0 ((⑬1/2 + ⑰2/2))

⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0 ((⑭1/2 + ⑲2/2))

⑮は委託処理のうちの最終処分量
0 (A+D+⑰+⑲)

その他
0 保管量

総埋立処分量
0 (⑨+A+D+⑰+⑲)

総再生利用量
0 ((②+⑧+⑫'+⑳))

計画の実施状況	(産業廃棄物の種類 : 0800 木くず)		事業場コード : 28JS000684	地域コード:11(神戸)																						
	(事業場コード(28J又は69Jで始まる全10桁コード)が不明の場合、事業所名称を記入ください。)																									
<p>自ら処理している場合の流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> 不要物等発生量 → 有償物量 有償物量 → 排出量 (① 0) 排出量 → 自ら直接再生利用した量 (②) 排出量 → 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (③) 自ら直接再生利用した量 → 自ら中間処理した量 (④) 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 → 自ら中間処理した後再生利用した量 (⑧) 自ら中間処理した量 → 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (⑨) 自ら中間処理した量 → 自ら中間処理により減量した量 (⑦) 自ら中間処理により減量した量 → 自ら中間処理した後の残さ量 (⑥) 自ら中間処理により減量した量 → 自ら中間処理した後最終処分量 (A) 自ら中間処理により減量した量 → 自ら中間処理した後委託最終処分量 (B) 自ら中間処理により減量した量 → 自ら中間処理した後委託中間処理量 (C) 自ら中間処理により減量した量 → 自ら中間処理した後優良認定業者への処理委託量 (D) 自ら中間処理により減量した量 → 自ら中間処理した後熱回収認定業者への処理委託量 (E) <p>直接委託処理した場合の流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> 直接委託処理した場合の流れ → 直接中間処理委託量 (⑯) 直接中間処理委託量 → ⑯の中間処理した後の残さ量 (⑯) ⑯の中間処理した後の残さ量 → ⑯のうち優良認定業者への処理委託量 (⑪) ⑯の中間処理した後の残さ量 → ⑯のうち再生利用業者への処理委託量 (⑰) ⑯の中間処理した後の残さ量 → ⑯のうち直接最終処分した量 (⑲) ⑯の中間処理した後の残さ量 → 熱回収認定業者への処理委託量 (⑬) ⑯の中間処理した後の残さ量 → 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (⑭) 																										
<p>備考: ⑯～⑳, ⑫及びA～Eは、法様式に追加して、報告していただいている項目です。</p> <p>追加項目は、産業廃棄物の処理動向を長期的に把握し、不適正処理を防止するため必要なデータです。</p>																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 排出量</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>②+⑧ 自ら再生利用を行った量</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>⑤ 自ら熱回収を行った量</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>⑦ 自ら中間処理により減量した量</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>⑩ 全処理委託量</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>⑪ 優良認定業者への処理委託量</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>⑫ 再生利用業者への処理委託量</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>⑬ 熱回収認定業者への処理委託量</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>					項目	実績値	① 排出量	0	②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0	⑤ 自ら熱回収を行った量	0	⑦ 自ら中間処理により減量した量	0	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	⑩ 全処理委託量	0	⑪ 優良認定業者への処理委託量	0	⑫ 再生利用業者への処理委託量	0	⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0	⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0
項目	実績値																									
① 排出量	0																									
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0																									
⑤ 自ら熱回収を行った量	0																									
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0																									
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0																									
⑩ 全処理委託量	0																									
⑪ 優良認定業者への処理委託量	0																									
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0																									
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0																									
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0																									

(第2面)

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
 0 (A+B+⑯+⑰)

⑪優良認定業者への処理委託量
 0 ((⑪1/2 + ⑫2/2))

⑫再生処理業者への処理委託量の合計
 0 ((⑫'+⑳))

⑬熱回収認定業者への処理委託量
 0 ((⑬1/2 + ⑭2/2))

⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
 0 ((⑭1/2 + ⑮2/2))

⑮は委託処理のうちの最終処分量
 0 (A+D+⑰+⑲)

その他
 0 保管量

総埋立処分量
 0 (⑨+A+D+⑰+⑲)

総再生利用量
 0 ((②+⑧+⑫'+⑳))

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときには、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。